

平成25年度第1回さぬき市図書館協議会 会議要旨（要約）

- 1 日 時 平成25年7月22日（月） 13:30～15:00
- 2 場 所 さぬき市教育委員会2階第5・6会議室
- 3 出席者 [委 員] 三井玲子 山本正子 名和京太郎
 渡邊寛 石川智治 池田洋子
 工藤衛一 大眉和子 宮口明美
 [事務局] 安藤正倫 中野敏記 六車均
 二宮澄夫 大山須美子 中村美幸 六車智穂
 [傍 聴] なし
- 4 議 題 (1) さぬき市図書館協議会副委員長の選任について
 (2) 平成24年度さぬき市図書館事業報告について
 (3) 平成25年度さぬき市図書館事業計画について
 (4) さぬき市子ども読書活動推進会議について
 (5) その他
- 5 会議の内容は次のとおりである。

発言者	意見概要
(事務局)	ただ今から平成25年度第1回さぬき市図書館協議会を開会します。会議に入る前に会議の公開について確認させていただきます。 (事務局より会議の公開等の取り扱いについて説明)
(委 員)	(公開することです承)
(事務局)	本日の傍聴はありません。 本日の会議の開催にあたりまして、山本委員長よりご挨拶をお願いします。
(委員長)	(委員長あいさつ)
(事務局)	続きまして、安藤教育長がご挨拶を申し上げます。
(教育長)	(教育長あいさつ)
(事務局)	議題に入ります前に、5名の委員さんの交代があったということで、自己紹介をお願いします。
(委 員)	(自己紹介)
(事務局)	まず、最初に本日の資料について、ご確認させていただきます。 (資料確認) それでは、議題に移りたいと思います。さぬき市図書館規則第2条第2項によりまして、議事の進行は山本委員長にお願いいたします。

(委員長)	それでは、平成25年度第1回さぬき市図書館協議会の次第に従いまして議事を進めさせていただきます。
(事務局)	では、議題1 さぬき市図書館協議会副委員長の選任についてですが、どのようにいたしましょうか。
(委員)	副委員長は今までいらっしゃったのではないですか。
(委員長)	前の方が、校長先生で退職されたので、今日選ばれる方が残任期間の1年をお願いすることになります。
(委員)	自薦でも他薦でもいいのですか。
(委員長)	はい。 私の経験から申しますと、校長先生は3月31日に異動されますので、私は一般の方から選んでいただいた方がいいと思います。 何も打合せはしてないのですが、キャリアの古い池田委員ではどうでしょうか。
(委員)	了承
(委員長)	それでは、副委員長さんご挨拶をお願いします。
(副委員長)	(あいさつ)
(委員長)	それでは、議題2に移りたいと思います。平成24年度さぬき市図書館事業報告について事務局から説明をお願いします。
(事務局)	(1.平成24年度決算についてを説明する。)
(委員長)	質問はありませんか。
(委員)	少なくとも資料を作る以上は、23年度があって24年度があるということは、そこに差があるわけですから、増減なりの欄がある方が見やすいのではないのでしょうか。
(事務局)	分かりました。
(委員長)	他にありませんか。 続きまして、3ページからの事業報告をお願いします。
(事務局)	(2.さぬき市図書館利用状況を説明する。)
(委員長)	8ページまでの質問はありませんか。
(委員)	さぬき市では、事業評価委員会では目標指数を出すのですが、この資料から何をこの表で訴えたいのか、これが何パーセントになったらいいのかわかるのか、あるいは何を協議会に訴えたいのかわからない。さぬき市の図書館、どこをどのようにしたらどうなるのかわかなくてこない。 例えば、アニメーションをやったらいいよということがありました。実際、アニメーションとは何をやるのか。さぬき市を活性化させて元気にすると書いてあります。実際に、さぬき市図書館にどういうふうに活用すればもっと貸出冊数が増えるのか、利用者数が増えるのか、その前にさぬき市図書

	<p>館としては、利用者数を増やしたいと思っているのか、本を増やしたいのかどうか、そういうところが見えてこない。</p> <p>ひとつの現象をとらえて、どうしていきたいのかという討論が続いていかなないと年2回もある協議会がもったいないと思います。</p>
(事務局)	<p>現実には、そういうことを訴えるような資料にはなっていません。少子化時代もありまして、報告した数字がマイナスが多かったように思います。これに対してどのような対策をとるのかというのも、ひとつ大きなテーマだと思います。ただ、全体的に減ってまして、かなり子どもの数が特にマイナスの数字が大きなものですから、図書館にとっては死活問題と言ったら言い過ぎかも知れませんが、そのくらいの気概はもってないといけないと思います。</p> <p>実は例年この数字を表わさせていただいてまして、今日の会をふまえて、今おっしゃった事業評価の域に目標を立てて、事業評価が自らできるような形に1・2年かけて変えていかなければならないというのが私どもの考え方です。</p>
(委員)	<p>例えば、志度図書館、寒川図書館と同じ規模の図書館を比べてみてどうあるかという書類を出していただきたい。</p>
(委員長)	<p>今までは、生涯学習課の課長が兼務していたのが、両館に館長ができたのでこれからの期待は大きくなるかと思えます。</p>
(委員)	<p>期待します。</p>
(教育長)	<p>事務局が申しましたデータですが、いろんなことを検討したり、比較をしたりする時の資料にするための基礎データとして必要になりますので、事前にデータを見ていただいておりますので、そこからこういうことについて検討加えるようなご意見をいただければ、必要な資料も用意ができます。</p>
(委員)	<p>さぬき市図書館は、10年を迎えようとしておりますので、その世界を脱皮して次のステップに入ってほしいなと思えます。</p>
(教育長)	<p>そういうこともありますが、基礎データとして作っておりますので、ご理解をいただけたらと思えます。</p>
(委員長)	<p>10周年の節目の年でもありますので、期待をしたいと思っております。</p>
(事務局)	<p>県下なら坂出市が人口規模が同じくらいになりますので、その辺りからの比較などもはじめてみたいと思えます。</p>
(委員)	<p>同じような規模の図書館と比較することで、委員の皆さんからご意見がいただけるのではないかと思います。</p>
(委員長)	<p>それでは、続いて9ページからの事業報告をお願いします。</p>
(事務局)	<p>(3.平成24年度さぬき市図書館運営状況を説明する。)</p>
(委員長)	<p>質問はありませんか。</p>

(委員)	<p>団体貸出で、学校関係は小学校がほとんどですが、一回の貸出冊数、期間はどのくらいですか。</p>
(事務局)	<p>文庫として、子どもがその場で読書の時間を楽しむことについて本が足りないという場合には、1か所につき50冊、30日間を考えております。</p> <p>学校の場合は、調べ学習とか授業のテーマに即した資料が学校図書館に少ないという場合には、ある程度融通をつけて貸出しています。</p> <p>中学校段階の読書の貸出冊数は減少しております。</p> <p>以前もお話しましたが中学校の場合、貸出時間に部活等で行けない状況にあります。子どもが本を読むのが好きではないかというところではない。そういった面で市の図書館との連携を中学校も団体貸出を積極的に進めていかないといけない。啓発のパンフレットでも作っていただけたら、配付して呼びかけもしていけると思います。</p> <p>子ども読書活動で、中学校2校に行き、学校図書館の改造、本の展示、掲示、本の並べ方についてお手伝いをさせていただいています。中学校には図書委員がいると思いますが、実動でお手伝いしてもらえるのは一日30分くらいしか時間がとれない。その短い時間の中で、読みたいと思わせる仕掛けが必要でないかという気がしています。</p>
(委員)	<p>ブックトークなど寒川図書館の方に来てもらっていますが、子どもが興味をもって聞いておりますので、積極的な連携が必要だと思います。</p>
(事務局)	<p>今年は中学校に力をいれていきたいと思っています。</p>
(委員長)	<p>他にございませんか。</p>
(委員)	<p>職場体験、図書館見学とありますが、それに対して図書館側としてどうということが参考になったのかを書いてもらうことが大事ではないかと思えます。</p> <p>また、研修に参加されていますが、研修をどのようにいかされているのか。</p>
(事務局)	<p>研修ですが、研修を受けた職員が、職場の中で報告をしております。</p> <p>職場体験につきましては、今後、図書館としてどのように思うかということを見定めていきたいと思っています。</p>
(委員)	<p>職場体験と職場見学は違いますので、何もかも職場体験とするのはおかしい。</p>
(教育長)	<p>職場体験というのはキャリア体験として文部省から推称されて実施しています。中学生になるとすでに進路をどういうふうにするのかという意味で経験をしていく。キャリア教育はより早くということで小学校教育でもするようになっていきます。</p> <p>図書館見学は低学年が多い。これは、学校図書館とは違った市立図書館</p>

	<p>はどのようなシステムなのかを社会知識を広める目的で学校教育では設置されています。</p>
(委員)	<p>文部省から小学生まで指針が出ているとは知りませんでした。</p>
(教育長)	<p>参加人数を見ますと体験は、ごく限られた人数、見学は全体でという数字になっていると思います。</p>
(委員長)	<p>他にありませんか。</p>
(委員)	<p>研修ですが、高知県図書館大会のテーマが分かれば、質問もできるのではないかと思います。</p>
(委員長)	<p>他にありませんか。</p>
(事務局)	<p>ないようでしたら議題3に移ります。平成25年度のさぬき市図書館事業計画について事務局より説明をお願いします。</p>
(事務局)	<p>(1.平成25年度予算について及び2.平成25年度さぬき市図書館事業計画を説明する。)</p>
(委員長)	<p>25年度の事業計画についても質問を受けたいと思います。</p>
(委員)	<p>9月の「読書へのアニメーション」の講師の先生はどなたですか。</p>
(事務局)	<p>日本アニメーション協会の方に連絡をとって、米子市の倉光先生に来ていただいで体験をしていただくようになっております。</p> <p>講座にきてもらう方はボランティアの方と学校図書館の方に案内しようかと考えております。</p>
(委員)	<p>藤田浩子先生の講演会は決定ですか。</p>
(事務局)	<p>まだ申請中です。</p>
(委員)	<p>アニメーションの参加はだれでもいいのですか。</p>
(事務局)	<p>はい。30名で募集をします。</p>
(委員)	<p>事業計画のイベント関係はどこで知ることができますか。</p>
(事務局)	<p>図書館だより、ホームページとかで見ることができます。</p>
(委員)	<p>あまり気がつくことがないのですが、他にも方法がないのですか。</p>
(事務局)	<p>広報にも載せています。</p>
(委員)	<p>お休みも載っていますか。</p>
(事務局)	<p>載っています。</p>
(委員長)	<p>他にありませんか。</p>
(事務局)	<p>休館日というのは問い合わせが多いのですが、どこにあるといいですか。また、思いついたら教えてください。</p>
(委員長)	<p>これからのことですので、何からでもご質問ください。</p>
(委員)	<p>寒川図書館の駐車場ですが、行事が重なる時には、止めることができないのですが、どうにかありませんか。</p>
(事務局)	<p>B&Gと改善センターと公民館があり、それぞれ行事がありますので難し</p>

	いかと思います。
(委 員)	コーンを置くというのは、どうですか。
(事務局)	図書館用だけにはコーンを置いております。それと、寒川図書館の看板がないのです。
(委 員)	図書館側から不備なところを言ってもらって協議するのはどうですか。
(委 員)	図書館に勤務されている者が図書館の近くの駐車場に止めているということはありませんか。
(事務局)	職員駐車場は建物の間の縦列しか入らないところに止めております。
(委員長)	議題3について、いかがでございます。
(委 員)	図書館協議会として年2回あるのですが、有効に活用するためにさぬき市の図書館がどうあるべきかというような意見交換をすることも必要ではないですか。
	去年の12月に予約した本がまだ借りられないのです。副本にしたらどうですかという副本にしたら費用がかかる。その本が読まれなくなったときに余ってしまうという返事をいただいた。理屈としては分かりますが、半年もまたされると自分で購入した方が安く手に入る。それでは、公共図書館の意味がない。
	何か方法がありませんか。
(事務局)	相互では借りていますが、人気の本ではそちらでも人気があるので、なかなか借りられない。
(委 員)	本屋さんにはないわけではないでしょう。
(教育長)	図書館にはそれぞれの使命があるのですが、例えば県立図書館では古いものまで記録しておく、そのために2~3冊買っている。市立図書館では財力、スペースを持ちえないので、限られた中で対応していくことが使命の一つだと思います。
(委 員)	何のために公共図書館があるのかということからスタートしていかないと、図書館を利用する人が増えていかない。
(委員長)	それでは議題4子ども読書活動推進協議会について、事務局よりお願いします。
(事務局)	(子ども読書活動推進協議会について説明する。)
(委員長)	それでは、議題4について質問はありませんか。
(事務局)	(補足説明)
(委員長)	これについては、8月2日に会議がありますよね。
(事務局)	8月2日の会議で今年度の年次計画、新しい推進計画を策定するにあたりご協議いただくこととなります。
(事務局)	
(委員長)	アウトラインだけでいいのではないかと思います。

(委 員)	この内容を知っているだけでいいのですね。
(事務局)	機会を見て双方に報告をする予定にしております。
(委員長)	それでは、議題5その他のところでもう少しご協議いただけたらと思いますが、いかがでしょうか。
(委 員)	津田公民館の中に図書室がありますが、どういう位置づけになっておりますか。近くに図書館のない小学校の高学年、中学校では自分で行ける公民館の図書室を利用するというのはどうでしょうか。
(教育長)	旧町時代は、図書費をだして購入していましたが、市になると公民館は貸館業務という方向に動いていったので、図書の充実はなくなった。その代わりに図書館に力をそそいでいこうということになった。
(委員長)	生涯学習館では職員が月・水・金にいますので図書の貸し借りはあるみたいですが。
(委 員)	学校図書館はあるのですが、自分で行ける図書館がないというのはどうでしょうか。
(委 員)	大川公民館の図書室では、ノートにつけて図書の貸し借りをしている。ある程度は公民館の図書の記録もある方がいいのではないかと。 図書館で本を読んでいるのではなく、さぬき市の中で本を読んでいるのだから。
(委 員)	図書館へ行けない子どもたちに本の楽しさを伝えていけないことかなと思います。
(事務局)	小・中学生は毎日学校へ通っていらっしゃいますので、学校図書館に力を入れていくということで、市内の子どもたちへの読書のきっかけづくりをしていきたいと思っております。支援員さんが昨年度より各学校におられますので、公共図書館が学校図書館へのバックアップを考えていきたいと思っております。
(委 員)	この資料を見ただけでは読書から離れているように見えますが、これだけでは間違えてはいけないと思っております。
(委員長)	小・中学校は全校、支援員がいるそうです。
(教育長)	学校図書館法というのがあり、各学校の中には図書館があります。冊数につきましても、児童数プラス基礎数というのがありそれに合うように図書の購入をしています。 また、一昨年度、光の交付金があり全部図書を購入しています。それぞれの状況に応じて子どもたちの読書へ力を入れています。
(委 員)	本の楽しさを子どもたちに知らせてあげることが、図書館利用者に繋がっていくのだと思います。
(委 員)	学校図書館以外で図書を借りる子どもがいるということは、学校の本が足りないか、何かあると思う。

(教育長)	興味の持ち方で、学校になれば公民館等で探すということになる。
(委員)	学校図書館のたくさんの本の中でも、公民館で本を借りるというのはおかしい。
(委員)	学校図書館の本はどのようにして購入していますか。
(委員)	各学級に図書委員がおり、アンケートを取って子どもの希望に沿った本を購入しています。
(委員)	公民館等には蔵書のリストがないのはいいものなのか。
(委員)	公民館はその場に行ってあるものしかない。
(委員長)	振り返ったら学校図書館の支援員も、館長の要望も何年間たって皆さんの意見がとおってきたので、皆さんの意見を伝えていくことが大事だと思います。
(委員)	現場で働いている職員の方の意見をだしていただけたら、委員で考えられると思います。
(委員長)	職員も変わればアイデアも変わってくると思います。
(委員)	職員も変わればアイデアも変わってくると思います。
(事務局)	交流プラザのふれあいコーナーの使い方については、どうでしょうか。
(委員)	図書館とは別になりますので、地域との交流ということで建設されています。
(委員長)	これを持ちまして平成25年度第1回図書館協議会を終わりたいと思います。本日は活発な協議により、また貴重なご意見をいただきありがとうございました。